

家庭・地域との連携 ～保育者と保護者はパートナー～

子どもを取り巻く状況やライフスタイルの変化に伴い、子育てへの不安や悩みを抱える保護者が多くなっています。子どもの表面的な姿が気になり、内面を捉えられず自信を無くしていることもあります。保護者の気持ちを大切にしながら園所と家庭とが手を携え、共に子育てに楽しみをもつようにしていくことが必要です。

子どもは「愛してほしい」「見てほしい」「認めてほしい」の気持ちをもっています。この気持ちを保護者に満たしてもらうことで、安心感・信頼感が生まれ、自尊感情の土台になり、自分を大切に思い、仲間も大切にできる人間関係の基礎ができます。また、やり抜く力や粘り強く頑張ろうとする力等、非認知能力に通じる気持ちが芽生え、小学校以降の生活・学びにつながっていきます。

自尊感情を育む土台づくりに大きく影響するのが、地域社会や周りの大人の関わりです。保護者がスムーズに地域社会と関わりをもてるように、園所は良好な関係を構築することが必要です。保護者同士、地域の子育ての先輩等と心地よく過ごせる時間や空間の存在が、不安や悩みを和らげ、子育ての意欲につながります。

保育者や保護者自身の自尊感情を大切にしながら、子どもへの働きかけや環境作りを工夫し、家庭の教育力を高めるためにも連携をしていくことが重要です。

子どもの自尊感情を育てるための連携

○保護者との関係づくり

- ・悩みに寄り添い、子育てに意欲や自信をもてるようにする。
- ・地域の人と関わる機会をもち、不安を和らげる。

安定感・受容

○子育ての楽しさと自信

- ・保護者と共に子どもの成長に共感し、新たなよさに気付くことができるような機会を設ける。

共通理解・共感

○保護者の教育力の向上

- ・保護者の子育てを振り返る機会をつくる。
- ・子育てについて学ぶ場をつくる。

共有・発信

○保護者の家庭環境や不安・悩みに寄り添い、談笑や交流の機会をつくり、保護者が安心感をもって気軽に話せるようにする。〈安定感〉

○保護者の話を傾聴し、思いに共感したり認めたりして、保護者の自尊感情を大切にし、子育てへの気持ちを高めるようにする。〈受容〉

○保護者と子どもと一緒に遊び、「たのしかったね」「また一緒にしようね」など体験したことが共有できるように、園所で機会を作ったり保護者に伝えたりする。〈共有〉

○子どもの話を丁寧に聞き、思いに共感し褒められたり認められたりして、新たなことに向かっていこうとする気持ちをもつようにする。〈共感〉

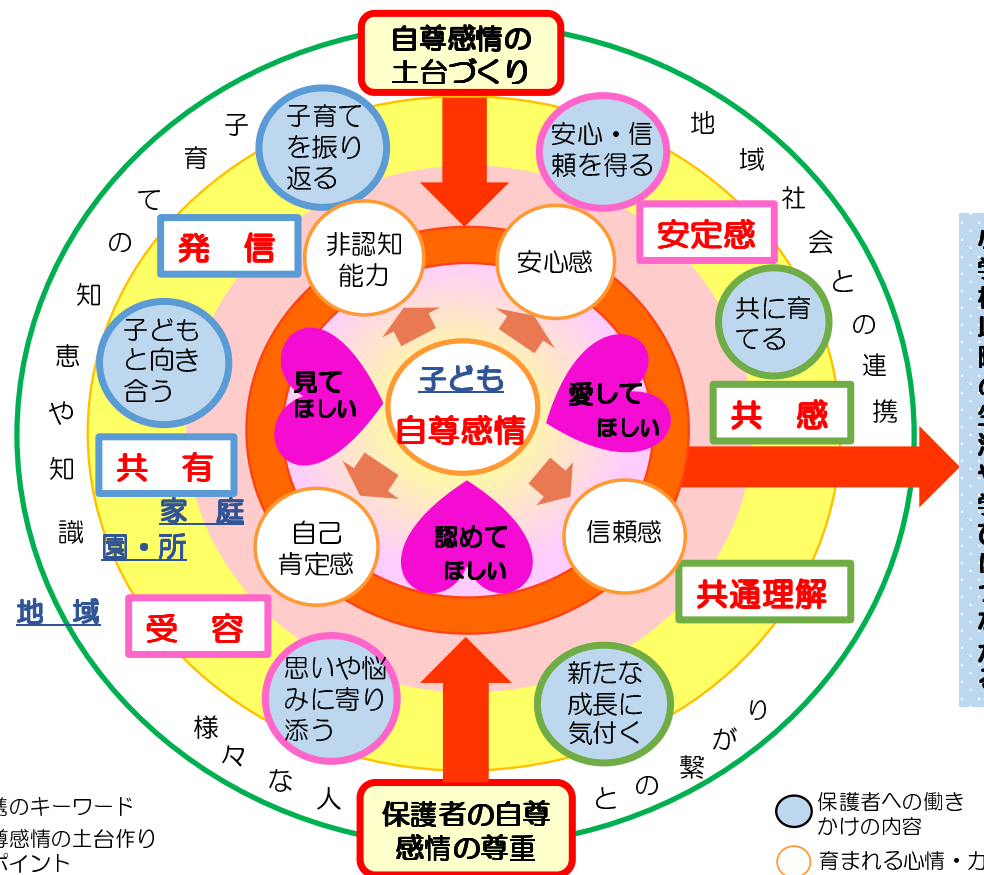
○自尊感情を育むために重要な「抱きしめる」「手を止めて話をきく」「肯定的な捉えをする」「認める言葉をかける」「過程を認める」などの手立てについて発信する。

〈発信〉

○子育てを振り返る内容として、園便りやドキュメンテーションなどを活用したり、講演会等で発信したりして、自尊感情について考えられるようにする。〈発信・共通理解〉

○地域の人との交流や対話を通して、子どもが安心して生活できるような環境づくりをする。〈発信〉

乳幼児期の自尊感情の育ち



小学校以降の生活や学びにつながる

- 連携のキーワード
- ♥ 自尊感情の土台作りのポイント

- 保護者への働きかけの内容
- 育まれる心情・力

●子どもの育ちを共に喜び合うための連携について、チェックしてみましょう。

- 保護者の子どもへの関わりを認め、保護者の自尊感情を高めていくようにしていますか。
- 保護者に子どもの自尊感情を育む大切さを知らせていますか。
- 写真掲示・ドキュメンテーションで、子どもの育ちを伝えていますか。
- 子どもとのよりよい関わり方について、理解を深めるようにしていますか。
- 保護者が地域に足を運べるように連携したり、知らせたりしていますか。